

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年10月2日 第52号
文責:江頭 俊輔

〔修學旅行が終わりました！〕

9月25日(木)～27日(土)の日程で令和7年度新宮東中学校修學旅行が行われました。3日間とも、天候が良すぎることも、悪すぎることもなく、「曇り」で、過ごしやすい気候の中、研修に臨むことができました。京都の研修では、日本の伝統・文化を学び、大阪関西万博では、最新技術や世界の文化に触れるとともに、来場者の多さに驚きながら、貴重な機会を味わうことができました。(江頭はずっとイタリア館近くの待機場所にいましたが、見える景色は人ばかりでした。5月の下見のときとの来場数の違いに驚きを隠せませんでした。)

研修中は、「班から数名がはぐれてしまった」「乗ったバスが反対方向だった」「むしろ、バスに乗れなかった」などなど、話題に事欠かない電話のやりとりの数々でした。(中には、けんかした班もあったようです。旅の思い出として、卒業式にでも笑い合えらいいですね。)そんな中でも班長を中心に冷静に本部と通信し、なんとか困難を乗り越えていく姿からは、「大人になったな～」と思わせられました。ご家庭でも修學旅行中の成功談、失敗談について話題にいただけると嬉しいです。

〔二度目の奇跡！感謝です！〕

さて、出発前の学年通信で「二度めの奇跡」を起こしてほしいと伝えていました。なんと、修學旅行当日にも奇跡が起きました。全員が集合時間に間に合って各駅に集合することができたのです。まさに「二度めの奇跡」です。本人の努力もさることながら、保護者の皆様のおかげだということははっきりと分かっています。朝早くからお弁当の準備をし、集合時間までに出発させていただき、ありがとうございました！！

〔見えないものを見る形に。嵯峨グレースホテルから学ぼう！〕

入所式の校長先生の話の中で、「見えないものを見るように」とメッセージを受け取りました。「心は見えないけれど、心配りは見える。思いは見えないけれど、思いやりは見える。」安全・安心な集団生活では、他の人のことを考え、見える形にすることがとても大切です。宿泊した嵯峨グレースホテルでは、随所に目に見えるおもてなしの気持ちが準備されていました。(右図は毎日更新されたウェルカムボードです。)気持ちを目に見える形で表現しよう。



〔つながりを大切に作る時間！〕

修學旅行1日めの夜の研修として題して【つながりを大切に作る時間】を行いました。2学年の学年スローガンである【つながり】を最も鮮明に感じるのは、「つながりから遠ざかっているときだ！」ということで、修學旅行という家庭から離れて生活するときに、伝える家族への想いを普段使っている「LINE(スマホアプリ)」ではなく、「身体が生み出す線(ライン)＝文字」で伝えよう(菊池先生の説明は素敵でしたね。)と手紙を書きました。たった30分ほどの時間でしたので、想いを伝えきれていない部分や恥ずかしくてなかなか本音が書けない部分もあると思います。目には見えないけれど、手紙から溢れている想いを受け取っていただけたら幸いです。